# 茨城県北三市(ひたちなか市、日立市、常陸太田市) 連携デジタルものづくり拠点化計画

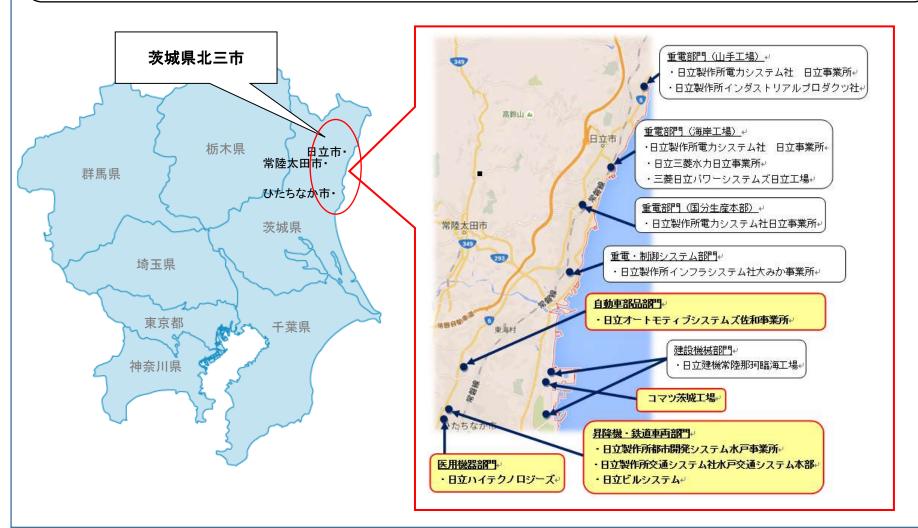


## 株式会社ひたちなかテクノセンター

常務取締役 企業支援部長 江尻 一彦 企業支援部コーディネーター 日熊 幸男

## 茨城県北三市ものづくりの現状①

・茨城県北の太平洋岸には日立製作所グループの大規模工場が多く立地(医用機器、自動車部品、 社会インフラ等)。特にひたちなか市・日立市・常陸太田市の三市は、日立製作所グループの企業 城下町として発展。



## 茨城県北三市ものづくりの現状②

- ・グローバル化の流れと共に、日立製作所において生産拠点の海外移転が進展。またグループ会社同士の統合や他社との事業統合など、地域拠点の再編が加速(三菱日立パワーシステムズ(株)の設立など)。
- ・当地域の製造品出荷額はピーク時の約70%、事業所数は約半数に減少し、製造業従業者数 も減少傾向。更に、日立市の社会減少数が2年連続で全国2位(平成25年・26年実績)となるな ど、厳しい状況が続いている。



地域の基幹産業である製造業の活性化が 地方創生における最大の課題

## 当地域のポテンシャル

# 中小企業の集積

• 現在「生き残っている」中小企業は、グローバル 競争に耐えうる高度な独自技術やノウハウを有 する企業。

## 大手企業の集積

日立製作所グループの存在に加え、コマツなど 大手企業の新規立地が進展。

## 豊富な支援人材

• 日立製作所OBを中心とした豊富な支援人材が 集積、コーディネーターとして活躍。大手企業とも 密に連携。

地域のポテンシャルを活かし、

「企業城下町」から「新ものづくり都市」への成長を実現させたい

## 課題解決への取組

#### 地域中小企業が目指すべき方向性

- ・新規取引先の開拓
- 既存大手企業との新たな連携(パートナー)の構築

#### 課題

開発・設計・提案力の強化

## 解決のための取組

大手企業等との連携のもと、デジタルものづくりを活用した中小企業 の設計・開発・提案力強化に取り組む。

- ①デジタルものづくり人材の育成による設計・開発提案力強化
- ②デジタル設計データの共有化による競争力強化

## デジタルものづくり事業内容①

#### ①デジタルものづくり人材育成事業

大手企業協力のもと、資格認定を組み込んだ3D-CAD研修や、3Dプリンタを活用した製品開発研修を実施し、実務レベルの設計開発力を有したエンジニアを育成する。

- (1)資格認定を組み込んだ3D-CAD研修
- (2)3Dプリンタを活用した製品開発研修
- (3)茨城高専等と連携したCAM技術者の育成
- (4)推進協議会の立上げ





## 推進協議会

#### 大手企業

中核中小企業

IT企業

県工業技術センター 産業技術総合研究所 茨城大学 茨城高専 筑波大学

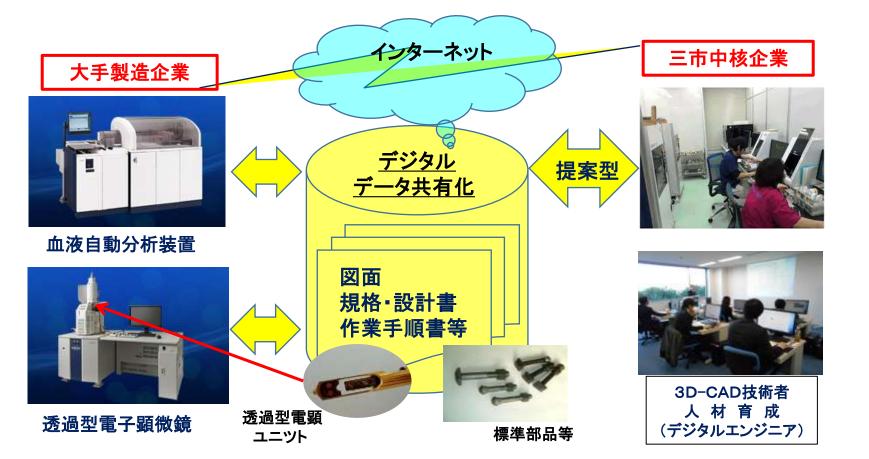
ひたちなかテクノセンター



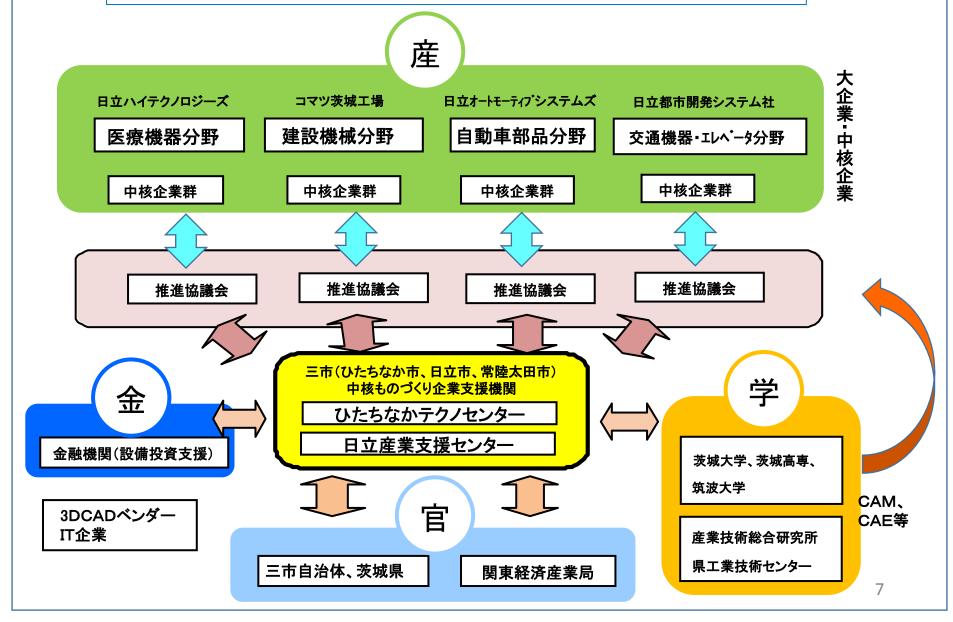
# デジタルものづくり事業内容②

②大手企業と中核中小企業間のデジタルデータ共有化によるIoT化へ向けた取組み

デジタル設計データの共有化によって生産性向上・納期半減を実現するとともに、 大手への設計提案を強化する。また大手企業や産業支援機関、学術機関と連携した 推進協議会を立ち上げ、課題解決を図る。



# 茨城県北三市における 産学官金連携による支援体制



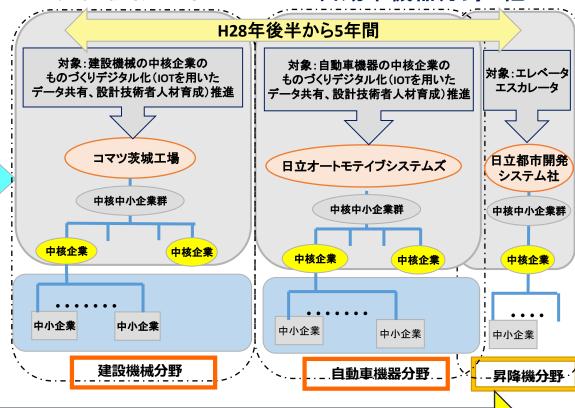
## 茨城県北三市デジタルものづくり今後の展開



#### H28年度 対象: 医療機器分野の中核企業の モ ものづくりデジタル化(IOTを用いたデータ デ 共有、設計技術者人材育成)のモデル化 ル 化 日立ハイテクノロジーズ 横 コロナ電気 三友製作所 中核中小企業群 展 菊池精器製作所 青柳工業 開 中核企業 中核企業 中小企業 中小企業 中小企業 医療機器分野

#### •建設機械分野

#### •自動車機器分野 他

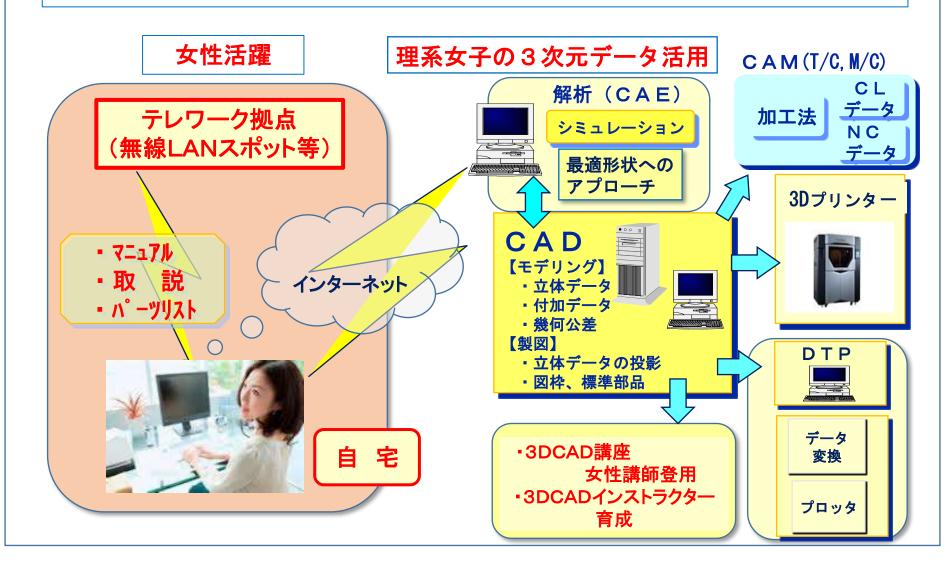


他分野(建設機械・自動車機器・昇降機など)への横展開を進める ―― 競争力強化

#### 【重要業績評価指標(KPI)】

- 〇 製品開発製造日数短縮 ・・・30%
- 〇 中核中小企業売上アップ・・・40%

## 新たな労働スタイルの確立と地方創生を実現する今後の展開



# 目指す地域の姿

# 企業の成長を通じて人材が集まる 「デジタルものづくり拠点」として 地域に仕事を創り出していく。

- 若者にとって魅力的な高付加価値の仕事を創出
- 女性が働きやすい労働スタイルの実現
- ーシニアの活躍によるデジタルエンジニアリングの強化